

## ⅩⅠ. 奨学金・研究助成制度について

### 1. 立命館大学独自の奨学金・研究助成制度

立命館大学大学院では、大学院生の学修・研究活動を支援する多様な奨学金・研究助成制度を設けています。奨学金制度ごとに、募集対象に記載されている以外の条件を設けている場合や、複数の奨学金制度の利用を制限している場合がありますので、出願に際しては最新の募集要項等で必ず確認してください。

#### (1) 修士課程、博士課程前期課程、一貫制博士課程（1・2年次）、専門職学位課程対象

##### 1) 入学時に給付するもの

名称	募集対象	給付額	募集時期等
立命館大学大学院1年次対象成績優秀者奨学金	修士課程、博士課程前期課程、一貫制博士課程1年次、専門職学位課程（教職研究科のみ）に入学する者で、入試成績が優秀な者	《給付》 研究科によって給付額が異なります ※「②給付額」参照	研究科が指定する入試方式（下記①参照）の合格者で、入試成績が優秀な者を採用内定者に選出し、原則として合格発表時に合格者本人に通知

#### ①立命館大学大学院1年次成績優秀者奨学金を適用する入試方式 (2017年2月時点)<sup>※注1</sup>

研究科	適用入試方式
法学	一般、社会人（一般）、外国人留学生、学内進学、学内進学（経営学研究科との大学院教育相互協力にもとづく）、飛び級
経済学	一般、社会人、外国人留学生、学内進学、APU 特別受入、飛び級、大連外国語大学日本語学院との協定にもとづく特別飛び級、江西财经大学外国語学院との協定にもとづく特別飛び級、延边大学外国語学院との協定にもとづく特別飛び級
経営学	一般、外国人留学生、学内進学（本学4回生対象）、学内進学（本学他研究科2回生対象）、APU 特別受入、飛び級、大連外国語大学日本語学院との協定にもとづく特別飛び級、对外経済貿易大学との協定にもとづく特別飛び級
社会学	一般、社会人、外国人留学生、学内進学、APU 特別受入、飛び級
国際関係	一般、外国人留学生、一般（日本語基準書類選考）、一般（英語基準書類選考）、学内進学（国際関係学部特別）、学内進学、学内進学（学部早期卒業希望者対象）、APU 特別受入、飛び級
政策科学	一般、外国人留学生（海外推薦）、学内進学
文学	一般、社会人、外国人留学生、学内進学、学内進学（大学院進学プログラム履修者対象）、APU 特別受入
映像	一般、外国人留学生、学内進学
言語教育情報	一般、社会人（一般）、社会人（自己推薦）、社会人（協定）、外国人留学生、学内進学、APU 特別受入、飛び級、国立高雄第一科技大学外国語学院からの飛び級、大連外国語大学日本語学院からの飛び級、北京理工大学外国語学院からの飛び級
先端総合学術	一般、一般（自己推薦）、社会人、外国人留学生、学内進学、APU 特別受入、飛び級
スポーツ健康科学	学内進学、一般、外国人留学生
理工学	学内進学、一般、社会人、外国人留学生、飛び級
情報理工学	学内進学、一般、社会人、外国人留学生（日本語基準・英語基準）、飛び級、大連理工大学ソフトウェア学院との協定にもとづく推薦（日本語基準・英語基準）、東北大学ソフトウェア学院との協定にもとづく推薦（日本語基準・英語基準）、大連交通大学との協定にもとづく推薦（日本語基準・英語基準）、泰日工業大学との協定にもとづく推薦（日本語基準・英語基準）、大連東軟信息学院との協定にもとづく推薦（日本語基準・英語基準）
生命科学	学内進学、一般、社会人、外国人留学生、飛び級
テクノロジー・マネジメント	一般、社会人、外国人留学生、学内進学、APU 特別受入、飛び級
教職	一般、社会人、学内進学

※注1 出願時に「立命館大学大学院 入試情報サイト」の「学費・奨学金」情報で適用となる入試方式をご確認ください

※注2 国費外国人留学生ならびにこれに準ずる資金を得て入学を予定している者は、この奨学金の対象とはなりません

## ②給付額

研究科名	給付額の種類（学期）			給付人数の割合
法学研究科 経営学研究科 社会学研究科 国際関係研究科 政策科学研究科 文学研究科 言語教育情報研究科 先端総合学術研究科 スポーツ健康科学研究科 教職研究科	I：100,000円		II：50,000円	IとIIを合わせて最大で入学者数の25%程度
経済学研究科	I：150,000円	II：100,000円	III：50,000円	I：入学者数の10%程度 II：入学者数の15%程度 III：入学者数の25%程度
映像研究科	I：150,000円	II：100,000円	III：50,000円	I～IIIを合わせて入学者数の50%程度
理工学研究科	I：250,000円		II：162,500円	I：入学者数の3%程度 II：入学者数の22%程度
情報理工学研究科	I：225,000円		II：50,000円	I：入学者数の25%程度 II：入学者数の20%程度
生命科学研究科	150,000円			入学者数の25%程度
テクノロジー・マネジメント研究科	I：150,000円	II：100,000円	III：50,000円	I～IIIを合わせて最大で入学者数の70%程度

名称	募集対象	金額	募集時期
立命館大学専門職大学院経営管理研究科奨励奨学金	経営管理研究科の実施する入学試験の成績上位者(入学時に実務経験2年以上を有する者を除く)	《給付》 入学初年度の固定授業料相当額	入学試験の成績上位者から採用内定者を選出し、合格発表時に本人に通知

※国費外国人留学生ならびにこれに準ずる資金を得て入学を予定している留学生、外国の大学との協定にもとづく留学生は、この奨学金の対象とはなりません

## 2) 入学後に給付するもの（2017年度の概要）

名称	募集対象	金額	募集時期等
立命館大学大学院2年次対象成績優秀者奨学金	修士課程、博士課程前期課程、一貫制博士課程1年次、専門職学位課程（教職研究科のみ）に入学した者で、2年次（第3 Semester）在学者	《給付》 研究科によって金額が異なります ※下記「給付額」参照	募集要項を確認してください

## 給付額

以下に記載のいずれかの奨学金を成績優秀者に対して学期ごとに2学期間給付します。

研究科名	給付額（学期）の種類			給付人数の割合※
法学研究科 経営学研究科 社会学研究科 国際関係研究科 政策科学研究科 文学研究科 言語教育情報研究科 先端総合学術研究科 スポーツ健康科学研究科 教職研究科	I：100,000円		II：50,000円	IとIIを合わせて最大で在学者数の25%程度
経済学研究科	I：150,000円	II：100,000円	III：50,000円	I～IIIを合わせて最大で在学者数の50%程度
映像研究科	I：150,000円	II：100,000円	III：50,000円	I～IIIを合わせて在学者数の50%程度
理工学研究科	I：250,000円		II：162,500円	I：在学者数の3% II：在学者数の22%
情報理工学研究科	I：225,000円		II：50,000円	I：在学者数の25%程度 II：在学者数の20%程度

研究科名	給付額（学期）の種類			給付人数の割合※
生命科学研究科	I：150,000円		II：150,000円	I：在学者数の20%程度*1 II：在学者数の5%程度*2
テクノロジー・マネジメント研究科	I：150,000円	II：100,000円	III：50,000円	I～IIIを合わせて最大で在学者数の50%程度

※給付人数：前期学期の募集は4月1日、後期学期の募集は9月26日時点での在学者数が基準となります

\*1 給付基準は総合評価の得点上位者

\*2 給付基準は生命科学研究科博士課程後期課程進学希望者の総合評価の得点上位者

名称	募集対象	金額	募集時期
立命館大学大学院 経営管理研究科 育英奨学金	経営管理研究科2回生在学者（入学時に実務経験2年以上を有する者を除く）。1回生時の学業において優れた成果を修めた者に対して支給	《給付》 2回生時（単年度）の固定授業料相当額	募集要項を確認してください

※国費外国人留学生ならびにこれに準ずる資金を得て入学を予定している留学生、外国の大学との協定にもとづく留学生は、この奨学金の対象とはなりません

名称	募集対象	金額	募集時期等
立命館大学大学院博士課程前期課程学生会補助金 1)国内学会参加補助 2)国内学会発表補助 3)国外学会発表補助	修士課程、博士課程前期課程、一貫制博士課程1～2年次在籍者で、指導教員の承認を得て、国内の学会に参加した者および国内外の学会で発表を行った者	《給付》 1)国内学会参加補助 国内交通費および学会登録料・参加費の合計（上限1万円、在籍期間中1回） 2)国内学会発表補助 国内交通費および学会登録料・参加費の合計（上限3万円） 3)国外学会発表補助 国内交通費・国際航空運賃および学会登録料・参加費の合計（上限10万円、年次1回） ※1～3の中から、1年次は年次1回まで、2年次は年次2回まで	随時 ※2月末までに申請してください
立命館大学大学院博士課程前期課程研究実践活動補助金 1)国内研究実践補助 2)国外研究実践補助	修士課程、博士課程前期課程、一貫制博士課程1～2年次在籍者で、研究科が実施する本補助金対象である研究実践活動に参加が決定した者 ※休学者の参加は別途条件あり	《給付》 1)日数により1.5万円～3万円 2)日数および地域により2万円～20万円 ※1)・2)を合わせて、在籍期間中、1回限り	対象となる研究実践活動への参加が決定した者に支給（募集は行いません）
立命館大学大学院学生研究会活動支援制度	複数の研究科の大学院学生による自主的な研究会活動を行う者 年度あたり30研究会以内（予定）	《給付》 1)経費支援 研究会の企画等にかかわる費用および講師の招聘にかかわる費用を支給（1研究会につき年額10万円上限） 2)施設支援 学内で研究会活動を行う際に、立命館大学課外活動団体への施設貸与条件に準じて教室を貸与	Semesterごとに募集 5月・10月（予定）
立命館大学大学院留学協定等にもとづく留学プログラムに対する奨学金	協定にもとづく共同修士学位プログラムや、研究科と外国の大学院との協定にもとづく交換留学プログラム等で派遣が決定した者 ※立命館大学海外留学チャレンジ奨学金および立命館大学海外留学サポート奨学金の受給者は除きます	《給付》 留学プログラムとして定められた派遣期間中に派遣先に納付する学費または本学に納付する入学金を除く学費の1/2相当額（所属研究科の入学金を除く学費の1/2相当額が上限）	対象プログラムによる留学派遣を決定した者に支給（募集は行いません）

名 称	募集対象	金 額	募集時期等
ベーススキル向上支援補助制度 (CLA 講座受講料補助)	立命館言語習得センター(CLA)主催の所定講座を受講する者 以下いずれかに該当する者であって、申請する講座に応じた申請要件を満たす者 ①本学大学院正規課程の在学者 ②申請の翌年度の本学大学院入試合格者で、申請時に第1次入学手続を完了した者。ただし、補助金の支給は第2次入学手続を完了した者のみを対象とする	《給付》 規定の受講料と別途費用負担が必要となる各種試験検定料の合計額 (上限2万円、年次1回)	随時 ※2月末までに申請してください
ティーチング・アシスタント (TA)	本学の正規課程に在籍する者	1 授業時間 (90 分) あたり 3,000 円 ※授業前後の作業時間(30分)を含む	入学後に随時案内

注) 上記内容は 2017 年度の概要です。2018 年度に内容が変更となる場合がありますので、必ず募集要項等で確認してください

(2) 博士課程後期課程、一貫制博士課程 (3 年次以上)、4 年制博士課程対象 (2017 年度の概要)

名 称	募集対象 (概要)	金 額	募集時期
立命館大学大学院博士課程後期課程研究奨励奨学金	1) S 給付 日本学術振興会特別研究員採用者・2017 年度採用の募集における面接選考対象者 2) A 給付・3) B 給付 各研究科の教育研究上の目的に照らして優れた研究業績をあげた者、あるいはあげることが期待できる者	《給付》 1) S 給付 授業料相当額 2) A 給付 授業料相当額 3) B 給付 授業料の 1/2 相当額	1) S 給付 (募集は行いません) 2) A 給付・3) B 給付 春期募集: 6 月 (予定) 秋期募集: 11 月 (予定) ※秋期募集実施は一部研究科のみ (募集要項で確認してください)
立命館大学大学院博士課程後期課程学生会発表補助 1) 国内学会発表補助 2) 国外学会発表補助	博士課程後期課程、一貫制博士課程 (3 年次以上)、4 年制博士課程在学者で、指導教員の承認を得て、国内外の学会で発表を行った者	《給付》 1) 国内学会発表補助 国内交通費および学会登録料・参加費の合計 (上限 3 万円) 2) 国外学会発表補助 国内交通費・国際航空運賃および学会登録料・参加費の合計 (上限 10 万円、年次 2 回以内)	随時 ※2月末までに申請してください
立命館大学大学院博士課程後期課程国際的研究活動促進研究費	博士課程後期課程、一貫制博士課程 (3 年次以上)、4 年制博士課程在学者で、申請年度内に通算 15 日以上海外で研究活動を行う者	《給付》 渡航先地域および期間に応じた研究助成金 (10 万円～30 万円) 海外渡航費 (国内交通費・国際航空運賃/片道交通費年次 4 回上限) (年次 1 回、在籍期間中 3 回上限)	5 月 (予定)
立命館大学大学院博士課程後期課程国内研究活動促進研究費	博士課程後期課程、一貫制博士課程 (3 年次以上)、4 年制博士課程在学者で、申請年度内に国内の本学以外の大学もしくは研究機関等において連続して 10 日以上の研究活動を行う者	《給付》 研究活動期間に応じた研究助成金 (5 万円～10 万円) (年次 1 回、在籍期間中 3 回上限)	5 月 (予定)
立命館大学大学院博士課程後期課程インターンシップ奨学金	博士課程後期課程、一貫制博士課程 (3 年次以上)、4 年制博士課程在学者で、申請年度内に企業等で通算 15 日以上インターンシップを行う者 ただし、給与が支払われるインターンシップは対象外	《給付》 インターンシップ日数に応じた奨学金 (10 万円～20 万円) (在籍期間中 1 回)	随時 ※1月末までに申請してください ※事前申請制 (申請書にもとづき審査を実施した上で、支給可否を決定)

名 称	募集対象 (概要)	金 額	募集時期
立命館大学大学院 学生研究会活動支援 制度	複数の研究科の大学院学生 による自主的な研究会活動 を行う者 年度あたり 30 研究会以内 (予定)	《給付》 1)経費支援 研究会の企画等にかかわる費用 および講師の招聘にかかわる費 用を支給 (1 研究会につき年額 10 万円上限) 2)施設支援 学内で研究会活動を行う際に、 立命館大学課外活動団体への施 設貸与条件に準じて教室を貸与	Semesterごとに募集 5月・10月 (予定)
立命館大学大学院留 学協定等にもとづく 留学プログラムに対 する奨学金	研究科と外国の大学院との 協定にもとづく交換留学プ ログラム等で派遣が決定し た者 ※立命館大学海外留学チャレ ンジ奨学金および立命館大 学海外留学サポート奨学金 の受給者は除きます	《給付》 留学プログラムとして定められた 派遣期間中に派遣先に納付する学 費または本学に納付する入学金を 除く学費の1/2相当額 (所属研究科の入学金を除く学費 の1/2相当額が上限)	対象プログラムによる 留学派遣を決定した者 に支給する (募集は行いません)
ベーススキル向上支 援補助制度 (CLA 講 座受講料補助)	立命館言語習得センター (CLA) 主催の所定講座を 受講する者 以下いずれかに該当する者 であって、申請する講座に 応じた申請要件を満たす者 ①本学大学院正規課程の在 学者 ②申請の翌年度の本学大学 院入試合格者で、申請時 に第1次入学手続を完了 した者。ただし、補助金 の支給は第2次入学手続 を完了した者のみを対象 とする	《給付》 規定の受講料と別途費用負担が必 要となる各種試験検定料の合計額 (上限2万円、年次1回)	随時 ※2月末までに申請し てください
ティーチング・アシ スタント (TA)	本学の正規課程に在籍する者	1 授業時間あたり 3,000 円 ※授業前後の作業時間(30分)を含む	入学後に随時案内

注) 上記内容は 2017 年度の概要です。2018 年度に内容が変更となる場合もありますので、必ず募集要  
項等で確認してください

## 2. 経済支援奨学金制度・ローン (2017 年度の概要)

日本学生支援機構の奨学金の他、様々な機関による奨学金・支援制度があります。奨学金制度ごと  
に、募集対象に記載されている以外の条件を設けている場合や、複数の奨学金制度の利用を制限して  
いる場合がありますので、出願に際しては最新の募集要項等で必ず確認してください。

名 称	募集対象(概要)	金 額	募集時期等
日本学生支援機構 大学院奨学金	本学大学院に 在学する者 ただし、留学生・ 標準修業年限を 超えて在学する 者を除く	《貸与》 ●博士課程前期課程、修士課程、専門職学 位課程、一貫制博士課程 1・2 回生 第一種 (無利子) 月額 5 万円、8.8 万円より選択 第二種 (有利子) 月額 5, 8, 10, 13, 15 万円より選択 ※法科大学院のみ 19, 22 万円も選 択可  ●博士課程後期課程、一貫制博士課程 3～5 回生、4 年制博士課程 第一種 (無利子) 月額 8 万円、12.2 万円より選択 第二種 (有利子) 月額 5, 8, 10, 13, 15 万円より選択	原則 4 月。秋入学者に限り 9 月頃応募受付  問い合わせ先： 学生オフィス 075-465-8168 (衣笠) 077-561-2854 (BKC) 072-665-2130 (OIC) *朱雀キャンパス所属の学生 は衣笠へ

名 称	募集対象(概要)	金 額	募集時期等
企業、民間助成団体、地方公共財団等の奨学金事業	本学大学院に在学する者	《給付、貸与》 団体によって異なる 各募集要項を参照	学校推薦群は3月中旬締切、一般公募群は随時  問い合わせ先： 学生オフィス（上記参照）
国の教育ローン (日本政策金融公庫が設ける教育ローン)	本学に入学・在籍する者の保護者	融資利率：年 1.81% (2017年1月現在)	随時（審査に時間がかかるため、可能な限り早めに相談してください）  問い合わせ先： 教育ローンコールセンター 0570-008656（web 申込可）
セディナ学費ローン (株)セディナと本学との提携の学費ローン)	本学に入学・在籍する者の保護者	融資利率：年 2.5% (2017年1月現在)	随時（随時申し込み可能ですが、学費納入期日に対して余裕を持ってお申し込みください）  問い合わせ先： セディナカスタマーセンター 0120-686-909（web 申込可）
オリコ学費サポートプラン (株)オリエントコーポレーションと本学との提携教育ローン)	本学に入学・在籍する者の保護者	融資利率：年 2.5% (2017年1月現在)	随時（随時申し込み可能ですが、学費納入期日に対して余裕を持ってお申し込みください）  問い合わせ先： オリコ学費サポートデスク 0120-517-325（web 申込可）

注) 上記内容は 2017 年度の概要です。2018 年度に内容が変更となる場合もありますので、必ず募集要項等で確認してください。

※ 上記で紹介したもの以外に、家計支持者の死亡、重度後遺障害、失業等の事由により家計が急変した場合の奨学金制度があります。その際は、学生オフィスへ直接ご相談ください。

### 3. その他の大学院修学支援制度（2017 年度の概要）

名 称	募集対象(概要)	金 額	募集時期等
日本学術振興会特別 研究員制度	《給付》 詳細は日本学術振興会ウェブサイトを参照 問い合わせ先：大学院課 075-465-8195		

※下記は 2017 年度の概要であり、2018 年度以降は未定のため、2018 年度以降の詳細については入学後に、以下ウェブサイトを確認してください。

平成 29（2017）年度の明示書は以下よりご確認ください。

[http://www.ritsumei.ac.jp/ru\\_gr/g-career/fellow/master/index.html/](http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/fellow/master/index.html/)

名 称	募集対象(概要)	金 額	募集時期等
厚生労働省教育訓練給付 制度（一般教育訓練）  法学（一部コースのみ）、 経営学、社会学、スポ ーツ健康科学研究科の博士 課程前期課程、言語教育 情報、経営管理研究科	支給対象者…次の①・②のいずれかに該当する者 ①雇用保険の一般被保険者である者のうち、支給要件期間が3年以上（※）ある者 ②雇用保険の一般被保険者資格を喪失した日以降、受講開始日までが1年以内であり、かつ支給要件期間が3年以上（※）ある者 ※上記①、②とも、当分の間、初めて教育訓練給付の支給を受ける場合は、支給要件期間が1年以上あれば可	初年度必要経費の 20% 相当額（上限 10 万円）  ※初年度必要経費 入学金 + 授業料（減免 奨学金を差し引いた額）	入学年度 4 月～ 5 月  ※修了日の翌日から起算して、1ヶ月以内にハローワークへの申請が必要  問い合わせ先： 大学院課 075-465-8195

#### 4. 外国人留学生を対象とする奨学金、その他の生活に関わる情報

立命館大学では、私費外国人留学生を対象として、奨学金制度や授業料の減免制度を設けています。また、公的機関や民間機関が実施する私費外国人留学生を対象とした個人応募の奨学金もありますので、公的機関や民間機関のウェブサイト等を確認してください。

##### (1) 立命館大学外国人留学生授業料減免

立命館大学では、私費外国人留学生の経済的負担を軽減することを目的として授業料の減免を行っています。大学院生の場合は、入学試験の成績が優秀である者を対象とする減免（院生Ⅰ種）と、標準修業年限以内の在學生で、院生Ⅰ種を除く者を対象とした減免（院生Ⅱ種）があります。

減免種別	期間	減免概要	募集方法等
院生Ⅰ種	標準修業年限以内	授業料の100%減免	入学試験の成績優秀者に対して通知
院生Ⅱ種	1年間	授業料の20%減免	入学後の定められた申請期間に申請

※授業料減免を受けるためには、私費外国人留学生で、在留資格が「留学」であることが必要です。  
※院生Ⅱ種の詳細については入学後に国際教育センターから案内があります。

##### (2) 各種奨学金制度

入学後に決定する外国人留学生を対象とする奨学金としては、本学が実施している奨学金や文部科学省学習奨励費（留学生受入れ促進プログラム）、その他公的機関や民間機関が実施する奨学金などがあります。これらの奨学金の推薦を受けるためには、入学後に大学が実施する奨学金募集期間に奨学金の申請をする必要があります（個々の奨学金の募集人数は多くありませんので、各奨学金については、入学後にお知らせする大学が定める基準に基づき選考を行ったうえで、受給者を決定します）。

（国際教育センターホームページ）[http://www.ritsumei.ac.jp/international/intl\\_students/](http://www.ritsumei.ac.jp/international/intl_students/)

（大学院キャリアパス推進室ホームページ）[http://www.ritsumei.ac.jp/ru\\_gr/g-career/fellow/](http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/fellow/)

※ホームページに掲載している内容は、その時点で募集しているもので、入学時または入学後の適用を保障するものではありません。